

向暑の候、AC・Net会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月の例会は哲学者・大阪大学総長 鷺田清一氏にご講演いただきました。会員の皆様に加えて会員以外の方にも多数ご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。心よりお礼申し上げます。

また今年度は、皆様のお陰でAC・Netは20周年を迎えます。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

第184回例会・特別講演会 開催報告

日時： 2010年5月21日(金) 15:00～16:30

会場： 大阪新阪急ホテル

演題： 「モード化する社会」

講師： 鷺田 清一 氏
哲学者・大阪大学総長



講演概要

右肩上がりの時代はひとびとの欲望が定型化する。

高度成長期における「三種の神器」のように、高度消費社会における「DCブランド現象」のように。そして建築や音楽、芸術や思想のように消費財でないもの、つまりそれじたいが流行を超えているはずのものにも、「モード」が浸透してくる。

これにたいして低成長期、あるいは停滞期の社会ではひとびとの欲望は逆にばらけてくる……。このことが意味するものを、「モード」という現象を切り口に考えてみる。

略歴

昭和24年京都市生まれ。京都大学文学部卒業。昭和52年京都大学大学院文学研究科（哲学）博士課程修了。関西大学文学部教授、大阪大学大学院文学研究科教授（哲学）、同研究科長、大阪大学理事・副学長を経て、平成19年8月より現職。日本倫理学会会長、アートミーツケア学会会長。これまで哲学の視点から、身体、他者、顔、規範、所有、モード、国家などを論じるとともに、美術・ファッション批評をおこなってきたが、近年は哲学の思考を社会の問題発生現場（医療・介護現場や教育現場）につなげる「臨床哲学」のプロジェクトに取り組んでいる。

主な著書

『「聴く」ことの力』(阪急コミュニケーションズ、桑原武夫学芸賞)、『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫、サントリー学芸賞)、『メルロ＝ポンティ』(講談社)、『じぶん・この不思議な存在』(講談社現代新書)、『悲鳴をあげる身体』(PHP新書)、『老いの空白』(弘文堂)、『「待つ」ということ』(角川学芸出版)などがある。



<<アンケートより>>

- プロ、モード、偶然・・・視点を持つことで日常に新たに気がつくことが多いかもしれない。面白い視点・発想のポイントに気がつくことができたように思う。
- 講義を聴講させていただき、何気なく日々過ごし、社会について何も考えることなく、単に政治や景気やニュースなどにしか興味を持てなかった自分を反省しました。

現代社会 哲学で解説

情報通信分野での情報交換などを目的に、関西の大学・研究機関の研究者や技術者、企業、自治体の担当者ら約300人が参加している「情報通信技術研究交流会」(AC・Net、事務局・神戸市西区)は21日午後3時～4時半、大阪市北区の大阪新阪急ホテルで特別講演会を行う。

大阪大の鷲田清一学長が「モード化する社会」と題し、現代社会について哲学の視点から解説する。

同会は1990年に発足。情報通信に関する最先端の研究や技術の動向をテーマにした講演会などを開いている。

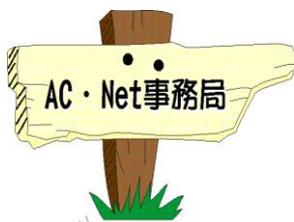
無料。申し込みは19日までに、ホームページ (<http://www-karc.nict.go.jp/ACnet/sub4.html>) にある申込用紙を印刷し、氏名や所属などを明記し、ファクス(078・969・2119)する。問い合わせは同会(078・969・2132)。

また、哲学的な発想で社会について考えていくこともなかなか興味深いものがあると思いました。

- 社会の動きを分析する考え方として、「モード」をキーワードとしてわかり易く興味深かった。日頃あまり慣れ親しんでいない考察に接して新鮮であった。
- 最近の複雑な社会・経済の世相を解明するのに有効な考え方についてご説明いただき感謝しています。
- 新しいものの見方について新鮮な切口を聞かせて頂きまして有難うございました。

平成 22 年 5 月 16 日 (日)
読売新聞に掲載されました

【事務局から】



- 講演会の御案内は、メール配信及び WWW-KARC のホームページ (www-karc.nict.go.jp/ACnet)で行っています。
- 会員名簿情報に変更がある場合は、その都度事務局までお知らせください。
〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2
独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究センター内
TEL 078-969-2132 FAX 078-969-2119